

平成 30 年 12 月 5 日

加盟団体アルペン担当者 各位

公益財団法人 全日本スキー連盟

競技本部長 皆川賢太郎

アルペン委員長 加藤 清孝



SAJ 公認ユースレース K1 カテゴリーの廃止について

平素より、本連盟の活動にご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、10月14日に開催された競技本部連絡会議においてお知らせ致しましたとおり、2019/2020シーズンよりユース K1 カテゴリーの競技会を、SAJ ポイントを付与する公認レースとしないことに決定いたしました。

その主たる理由は、より良い SAJ ポイントの獲得を目指すことが、K1 レース参加者及びその保護者のアルペンスキー活動の過度のモチベーションとなっていることを、危惧するところにあります。

もとより、良い成績 (SAJ ポイント) を目指すことが悪いわけではありません。しかしながら、K1 (小学校 5 年生) より SAJ ポイント獲得を目指すことで、必然的に小学校低・中学年からゲート練習がスキー活動の主体となり、結果として、スキー技術の幅が狭くなり、将来の伸び代を小さくしているのではないかと我々は考えました。

今回アルペン委員会の決定は、加盟団体が SAJ 公認ユースレース K2 カテゴリーの開催と併せて、従来種目の加盟団体公認 K1 レースを開催していただくことを妨げるものではありません。しかしながら、SAJ 及び加盟団体公認レースから K1 カテゴリーが離れることで、次のような多様な形態の競技会の開催が可能になると考えます：

- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| - チームイベント | - ショートポール SL | - ウェーブ大会 |
| - パラレル種目 | - スキークロス | - 基礎技術評価大会 |
| - パネル SL | - ミニ DH | |

これらの種目を従来のレースに加えることで、K1 選手の技術の幅を広げることができると考えます。また、従来のポイントを付与しないこれら競技会には、ICR で定められた用具でなくとも参加することが可能となります。これらのことにより、アルペンスキー大会参加への間口を広げることも期待されます。

さらに、K1 を切り離すことにより、K2 レースコースの難度を上げることが可能となります。現在、多くの SAJ 公認ユースレースでは、K1 及び K2 が同じコースプロフィールで実施されています。小学校 5 年生から高校 1 年生早生まれまでが同一コースを使用し競技することは、選手強化上、又安全上、合理的とはいえません。K1 を切り離すことで、より K2 選手のレベルアップを考慮した大会運営が可能になると考えます。

以上の点を鑑み、アルペン委員会では 2019-2020 シーズンより SAJ 公認 K1 レースの廃止を決定致しました。なお、2018-2019 シーズンに取得された SAJ ポイントの取り扱いにつきましては、次の通

りと致します：

- 1) 現小学6年生：2019-20 シーズン K2 へ移行
- 2) 現小学5年生：2020-21 シーズン K2 へ加算なしで移行（※K2 初年度の SAJ 登録では、18-19 シーズンの SAJ 登録番号及び競技者番号を使用し、「更新登録」を行って下さい。）

なお、ジュニアオリンピックカップにつきましては、来季（2019/2020）まで K1 レースを開催いたします。ただし、来季 SAJ ポイントを付与いたしません。また、2020/2021 シーズン以降の開催につきましては、2019 年秋までに公表いたします。

公認大会制度の大きな改革であり、皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、主旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

以上